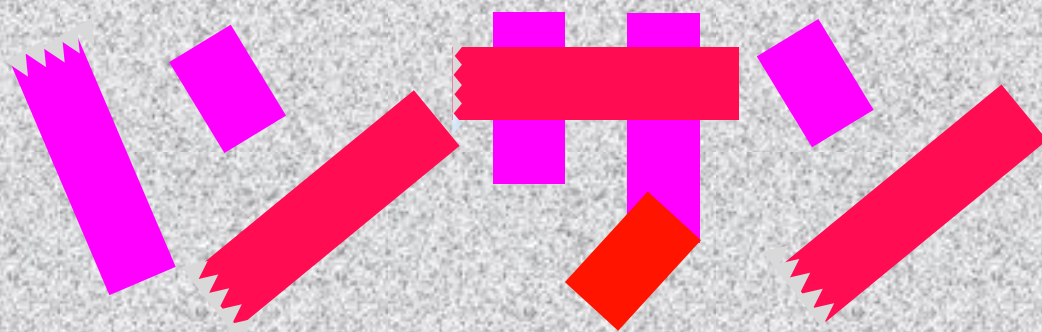


Hot and New South Akita Npo



9

September  
2018  
Vol.135



◆表紙の紹介◆

「ハーモニープラザまつり」

平成30年9月8日、秋田県南部男女共同参画センターにおいて、「つなげよう、広げよう。明日へと続くネットワーク！」をテーマに、「第17回南部ハーモニープラザまつり」を行いました。21団体が参加し、ステージ発表や展示・体験ブースにて、日頃の活動紹介や成果を発表しました。

◆目次◆

- P2 わくわくげんき 田沢湖駅前広場を活用する会「こまちの会」  
—横手高校定時制
- P3 わくわくげんき 防災クロスロード体験—羽後高校
- P4 活動ウォッチング 秋田・空き家の相談窓口
- P5 助成金情報
- P6 イベント情報・おしらせ





高校生ライターが聴きました！

# わくわくげんき

Vol.5

平成 29 年度仙北地域振興局「元気なふるさと秋田づくり」を受賞した田沢湖駅前広場を活用する会「こまちの会」の皆さんからお話を聴きました。



「こまちの会」の皆さんと高校生ライターの皆さん

田沢湖駅前広場を活用する会「こまちの会」は、平成 26 年の夏に、駅前が寂しいと思ったメンバーがまずは花を植えることから始めました。現在は 30 名の多様な職種のメンバーのおかげで、イベント運営もスムーズに出来ています。イベント等では、メンバーが大活躍をしているそうです。



◀ 整備された駅前の花壇  
▼ 「こまちの会」の皆さんと高校生ライターの取材の様子



## 取材して感じたこと

取材した「こまちの会」の皆さんは若々しく、会員の平均年齢を聞いて驚きましたが、田沢湖を活気づけようとしている熱意が伝わってきました。今後「こまちの会」が目指していることは、少しでも若い方たちに田沢湖や、「こまちの会」の活動に興味を持ってもらい、活動をつづけていきたいことだそうです。秋田県は少子高齢化が進んでいるので、田沢湖をたくさんPRし、少しでも移住したいと思う人や、この町にまた行きたいと思う人が増えるといいなと思いました。

(佐藤理湖)

始めて田沢湖駅を訪れて、田沢湖駅前がきれいに整備され花々が咲き誇り、とても感動しました。しかし、「こまちの会」の皆さんからは、「以前は荒れ放題だった」という話を聞き、驚きました。ここまで素晴らしい駅になったのは努力と持続の賜と感

じました。活動の原動力について会長の村上さんは、「参加してくれる皆の協力が、一つの力になったとき。また活動する自分たちが楽しむことが大切です。」と語ってくれました。これからも地域で協力、手助けをしながら活動を続けていきたいそうです。そんな「こまちの会」を私は応援していきたいと思いました。(諸越知美)



今年の夏まつりのポスター

「こまちの会」の代表の村上洋子さんが、田沢湖には高齢者が多く、若い担い手が少ないと話してくれました。駅前の管理された花を見て、どの花も綺麗に咲いていてその花が枯れないように水やりや草むしりなどこまめに行っているなと感じました。これからの活動には若い担い手の力がすごく必要になってくることを今回の取材で知ることができました。

私は、若い担い手の一人として少しでも自分にできることは協力していきたいと思いました。(高橋 佳奈)



連絡先：田沢湖駅前広場を活用する会「こまちの会」  
事務局・黒澤 090-4880-5553

防災を中心にクロスロード（カードゲーム）の勉強会、研修会をしている市民活動団体と高校生の勉強会が開催されました。市民団体「あきたクロスロード研究会」は、9月22日、23日に開催される2018AKITA 防災キャンプフェスへ参加します。いつ起こるか分からない災害に備え、命を繋ぐ知恵を学べる2日間です。会場は日本赤十字秋田看護大学。

## 防災クロスロード体験

災害への備えはできていますか？



昨年、設立した「あきたクロスロード研究会」による「防災クロスロードの体験」を羽後高校が防災の勉強として、9月4日に1年生42人が体験しました。ボランティア・災害用語などの知識を教わり、その後に災害時に起こりうる問題についてのワークショップをしました。いざという時に「どう考えるか」「どう行動するか」を準備しておくことは大事だということを確認し合いました。災害時の対応は一つとは限らないこと、考えの理由をお互いに話し合う、聞き合うことの必要性を感じてくれていたようでした。



## 体験しての感想



**Aさん**：避難場所、避難所の違いなど普段何げなく聞いていたことにはこんな意味があったんだととても勉強になりました。ジレンマについて、一人一人が様々な意見を持ってとても楽しく、考えさせられました。ボランティアをやるうえで心の構えなどとてもためになったことばかりだったので、これから災害に備えた準備をしていきたいです。

**Bさん**：今日教えてもらったことを、災害がおきた時のためにしっかり頭に入れておきたいと思いました。避難場所、避難所の違いなど分からない人がいると思うので、教える機会があったら話したいです。自分の命も大切だけど、相手の命も大切にしながら頑張りたいです。

**Cさん**：今日の防災クロスロードを通して、自分

がどんな立場でも、その場に応じた行動をとることが大切だと思いました。災害時における、ジレンマに対するゲームで、自分だけの考え方だけではなく、相手の考えを共有し合って、災害時にどうすればよいのか、どのような行動をとったらいいのか、改めて考えることができたのでよかったです。

**Dさん**：自分では、まったくわからないことばかりだったので、今回の「防災クロスロード」はとても良い機会になりました。自分の地区の避難所を知らないなので、しっかりと聞いて、もしもの時に備えたいと思います。今回のことをしっかり忘れずにいきたいと思いました。

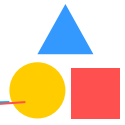
**Eさん**：今日、初めてクロスロードをやって、自分の意見をしっかり言え、友達の意見もちゃんと聞けました。防災についていろいろ語れるし、たくさんの意見を出し合えるためクロスロードはいいものだと思います。今回初めて知る単語が多く、今後忘れないようにして、いざという時に役立てたいです。



連絡先：あきたクロスロード研究会事務局  
メール [akitacr2018@gmail.com](mailto:akitacr2018@gmail.com)

※「防災クロスロード」は、職場、町内会、自主組織などそれぞれの立場や置かれた状況などから、災害時シュミレーションを行い、お互いの考えを知るカードゲーム(思考の防災訓練)です。





## CSR<連携のCSR>の取り組み

地域の専門家が連携し空き家問題に  
ワンストップで対応していく

### DATA\_団体情報

NPO 法人  
秋田・空き家の相談窓口

横手市赤坂字館ノ下 80-1  
TEL 0182-38-8062  
FAX 0182-38-8061

### 空き家の問題とは

空き家問題には大きく 2 つの原因があります。1 つは高齢化社会が進むことで、空き家が急速に増加すること。もう 1 つは、空き家所有者自身や相続で所有者となった方(遠方に住んでいるケースも多い)が空き家の管理ができなかったり、活用や取り壊しの方法がわからないことで、問題を抱えていることです。この解決には専門的な知識が必要だったり、法律のカベがあり、複数の専門家を 1 人で見つけ、別個に相談する必要があるため、空き家解消の高いハードルとなっています。そのため「秋田・空き家の相談窓口」では、この問題解決に向けた対策を弁護士、不動産鑑定士、税理士といった専門家や不動産会社、解体業者などと連携し、相続問題から活用の方法の提案までをワンストップで対応できるプラットフォームをつくるべく、平成 29 年に設立されました。

### 空き家の管理問題を解消

相談で多い空き家は、親がもともと住んでいた自宅、つまり実家です。相続問題が複雑に絡み合ってしまうものもたくさんあります。秋田県では冬季間の雪による近隣からの苦情や他からの苦情が来るのではないかと心配があります。こんな悩みを「秋田・空き家の相談窓口」では、定期的な管理を行うことで、近隣とのトラブルや損害賠償責任を負う危険回避などを未然に防ぐなど、具体的な提案も行っているそうです。

また、実家を相続した場合に、かかる費用の他、

維持管理にどのくらいの費用が掛かるかなどのシミュレーションを行い、今後の管理についてのアドバイスも行っています。

### 「未来」への良きパートナー

空き家の所有者の「今」抱える問題に寄り添いながら、スピーディーなサポートをして相談者に役立つような存在になるように活動していくそうです。メンバーの豊富なノウハウを駆使し、地域の方々との地域づくりの役に立つ良きパートナーとなることが、これからの目標とのことでした。



## ◆助成金情報◆

### NPO 基盤協会資金助成（公募）

福祉及び便化の向上に資することを目的に、主に障害児・者、高齢者などを対象として活動するNPO 支援、社会福祉の学術文献表彰、学術研究・文化活動の助成などを助成。

申込み期限：平成 30 年 10 月 12 日（金）

助成金額：1 団体 50 万円を上限

詳細：<http://www.sinkwf.org/jyosei/kibankyouka.html>

問合せ先：公益財団法人

損保ジャパン日本興亜福祉財団

TEL：03-3349-9570



### 東洋ゴムグループ環境保護基金 2019 年度募集

環境保護・環境保全関連の事業活動を行う非営利団体を資金面で支援することを目的としている。これまで延べ 796 団体に対し、累計 4 億 3,400 万円の助成されている。

募集締切：平成 30 年 9 月 28 日（金）

助成金額：1 団体上限額 150 万円

詳細：<http://www.philanthropy.or.jp/toyotires/2018/>

連絡先：公益社団法人日本フィランソロピー協会

「東洋ゴムグループ環境保護基金」事務局

TEL：03-5205-7580



### 第 14 回 TOTO 水環境基金

平成 17 年度に「TOTO 水環境基金」を設立し、地域の水と暮らしの関係を見直し、再生することを目指した創造的な取り組みを支援します。

募集期間：平成 30 年 10 月 20 日（土）

助成金：1 件あたり上限 80 万円/年×最長 3 年

詳細：<https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/group/index.htm>

問合せ先：TOTO 株式会社総務部総務第二グループ

TEL：093-951-2224



### 第 7 回（2018 年度）

#### ソーシャル・ジャスティス基金 SJF 助成

「社会的公正」の視点から、社会の一般的な考えや今の政策・制度では見逃されがちだが、大切な社会的課題に取り組み、解決策の提案（アドボカシー活動）を行う団体の事業を助成。

募集締切：平成 30 年 9 月 26 日（水）

助成金額：1 案件上限 100 万円

詳細：<http://socialjustice.jp/p/2018fund/>

連絡先：ソーシャル・ジャスティス基金（SJF）

TEL：03-5941-7948



### コミュニティスポーツ推進助成プログラム

地域に根ざした市民・NPO・専門家が協力し、スポーツを通じて一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組みをコミュニティスポーツとし、取り組みに対して応援。

【一般課題】1 件あたり 50 万円以下 14 件程度

【特定課題】1 件あたり 200 万円以下 4 件程度

受付期間：平成 30 年 9 月 10 日（月）～10 月 10 日（水）

詳細：[http://www.skzaidan.or.jp/#sport\\_application](http://www.skzaidan.or.jp/#sport_application)

連絡先：（公財）住友生命健康財団

TEL 03-5925-8660



### 子供の未来応援基金

民間資金からなる「子供の未来応援基金」を通じて、草の根で支援活動を行う NPO 法人等の運営基盤の強化・掘り起こしを行い、社会全体で子供の貧困対策を進める環境を整備することを目的に、NPO 法人等への支援金の交付を行う。

募集締切：平成 30 年 9 月 21 日（金）

助成金額：1 案件上限 500 万円

詳細：<http://www.wam.go.jp/hp/miraiouen3rd/>

問合せ先：独立行政法人福祉医療機構

NPO リソースセンター

TEL：03-3438-4756



### 全労災地域貢献助成事業 2018 年募集

「人と人とがささえあい、安心して暮らせる未来へ」をテーマに、地域の人々がたすけあって自然災害に備え、いのちを守る活動、環境を守る活動および子どもの健やかな育ちを支える活動を支援。

応募期間：平成 30 年 9 月 21 日（金）～10 月 5 日（金）

助成金額：上限 1 件 30 万円

問合せ先：全労災本部経営企画部

TEL：03-3299-0161

詳細：<https://www.zenrosai.coop/zenrosai/csr/joseijigyoku.html>



活動資金調達をお考えの NPO 法人・市民活動団体向けの助成金情報です。

申請書の書き方等の相談を受け付けております。

ご相談（0182-33-7002）ください。

休館日（木曜日）

## ◆イベント情報・おしらせ◆

### よこらボ伝統食プロジェクト 第1弾「横手の伝統おやつ みそっこを学ぼう」

後世に伝えたい横手の伝統料理をみなさんと一緒に学んで実際に作ってみませんか？講師による伝統食の座学がありみそっこ（みそまき）を調理します。横手の財産「食文化」の継承を願い企画しました。ぜひご参加ください。

開催日時：平成30年9月29日（土）  
12:30~17:00

開催場所：さかえ館（栄公民館）  
横手市大屋新町字堂ノ前32-1

参加対象者：① 高校生から30代までの方  
② 小学生とその保護者

参加費：無料

持ち物：エプロン、三角巾

主催：よこらボプロジェクト実行委員会

問合せ先：横手青年会議所内事務局

（担当 木匠、高橋）

TEL：0182-32-1170



### 2018 AKITA 防災キャンプフェス

防災キャンプフェスは今年で3回目です。開催の目的は、「アウトドアの活動から、いざという時に役立つ知識と、学びの中から命を繋ぐ知恵を学ぶこと」。屋外を中心に、自衛隊や消防本部、警察の活動を知ることができ、遊び、学び、体験できるさまざまなブースがあります。命を繋ぐ知恵を学びませんか。

日時：① 平成30年9月22日（土）9:30~17:00  
② 23日（日）9:30~15:00

会場：日本赤十字秋田看護大学、日本赤十字秋田短期大学  
グラウンド、構内

ブース：被災時ペット対応ブース、被災時乳幼児対応ブース、  
秋田県防災士会ブース、被災時外国人対応ブースなど

主催：AKITA 防災キャンプフェス実行委員会

問合せ先：

AKITA 防災キャンプフェス実行委員会事務局

TEL：018-896-6733



### 災害支援活動報告

西日本豪雨災害等の支援活動として、浸水した家屋の掃除等に使用するタオル(使用済み可)の提供をお願いしておりました。8月31日にみなさまからお預かりしたタオル(517枚)・軍手(224双)等は横手市社会福祉協議会を通じて、被災地に届けていただくことになりました。

たくさんのご協力・ご支援ありがとうございました。



編集スタッフの  
つぶやき VOL.5

サポートセンター長  
高城 憲子

.....熊本地震、西日本豪雨、北海道地震で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。NPOとして一市民としても、少しでも出来ることは考え行動していきたいと思えます。

.....これまで大きな被害がなかった秋田県でも、昨年の集中豪雨等自然災害が各地で見られます。いざという時を意識して暮らしていくことが大切かもしれません。今月は「AKITA防災キャンプフェス」が9月22・23日に日赤秋田看護大学で開催されます。被災時を学び、体験できるイベントです。参加してみましょ。

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

**ハンサン** 2018年9月10日発行  
9月号 VOL.135

発行：秋田県あきた未来創造部地域の元気創造課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPOセンター  
(南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9  
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00 土 9:00~17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail : ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.kennannpo.org/project/supportcenter.html

